

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 くらしの植物苑東屋 13:30～

第106回 1月26日(土)『炭と植物』 吉村郊子 (本館研究部歴史研究系)

第107回 2月23日(土)『浜のくらしと植物』 江口誠一 (千葉県立中央博物館)

今週のみどころ 毎週木曜日更新 <http://rekihaku.ac.jp> くらしの植物苑

冬の華・サザンカ 展示中 カンツバキ群・ハルサザンカ群 が満開です。



今見られる花

樹木：ロウバイ、ソシンロウバイ、サザンカ群、カンツバキ群、ハルサザンカ群

草本：スイセン、フクジュソウ、

カンツバキ群



昭和の榮



絞昭和の榮

昭和の榮の、白い斑が入ったものを絞昭和の榮といいます。

実生とは、種子を蒔いて、変わったものを探し出し、栽培したもので、これは花卉の数が増えています。



群小蝶



群小蝶の実生



展示しているサザンカにこんな穴があいています。花の蜜を吸いにヒヨドリやメジロがきた証拠です。

フクジュソウ (キンポウゲ科フクジュソウ属)

フクジュソウの花が開いてきました。花の構造は、みえてはいませんが外側にごく片、内側に黄色い花弁が 20 数枚見えます。花弁は夜には閉じます。多数の雄しべがあり、真ん中のかたまりがめしべの集まったものです、花弁の内側に蜜腺がないことから、他のキンポウゲ科と区別できます。英語では Amur Adonis、中国語で福寿草といいます。



スイセン (ヒガンバナ科スイセン属)

つぼみだったスイセンが開いてきました。花の構造は外側から、6 枚の内・外花被片が上下 2 列にあり、カップ状の副花冠があることが特徴です、副花冠内にめしべ 1 本と、雄しべ 6 本が上下 2 列にあります。



ロウバイ (ロウバイ科ロウバイ属)

ソシンロウバイの横に、ロウバイの花が咲いてきました。花を比べてみてください。花被片は多数で連続し、ごく片、花片の区別ができません。内花被片が暗紫色、中片は黄色、外片は鱗片状のロウバイ(上)、内花被片が黄色のものソシンロウバイ(下)があります。中国に 3 種が分布します。乾燥した花はお茶に用いられます。ロウバイは英語では Winter Sweet、中国語では臘梅といいます。



1月17日に雪がふりました。雪の日の朝にはこんな楽しみがあります。どんな動物が来ているのでしょうか。

